

トンボとヤゴ

トンボとヤゴ

トンボの子どもは、ヤゴとよばれます。ヤゴは、池や川などの水の中であらしてあります。体は茶色っぽく、羽はまだありません。

ヤゴは、水の中の小さな虫やおたまじやくしなどを食べます。ヤゴの口の下には、のびちぢみする長い「うで」のようなものがあり、えものが近づくと、すばやくのばしてつかまえるのです。

大きくなったヤゴは、水から草のくきなどにのびります。そして、からをぬいで、羽のあるトンボになります。トンボは、チョウのようにさなぎにはなりません。

1 トンボの子どもを、何とよびますか。

ヤ
ゴ

2 ヤゴは、どこであらしてありますか。

水
の中

3 ヤゴは、えものをどうやってつかまえますか。

ア
口の下の、のびちぢみするものをのばして。

イ
あみをはって。

4 大きくなったヤゴは、どうなりますか。

ア
水のそこにもぐる。

イ
からをぬいで、トンボになる。

おうちの方へ

- トンボはさなぎにならず、ヤゴから直接トンボになります。チョウとのちがいを話してみましょう。